

温度検知塗料 テンピリキッド



特徴

- ◆ テンピリキッドは、速乾性と溶解性を併せ持つ温度検知塗料です。
- ◆ ワークの表面に塗布すると急速に乾燥・固化します。ワークが塗料の検知温度に達すると溶けるため、熱電対で測定せずに温度確認が出来ます。
- ◆ 設定温度：149℃～816℃（全 21 種類）
- ◆ 検知誤差：摂氏±3% / 華氏±1%
- ◆ 容量：約 60ml (2oz)
- ◆ 各設定温度毎に色及び製造管理番号で識別されています。

用途

- ◆ ワーク表面の温度分布の確認
- ◆ ブレーキキャリパーの検査
- ◆ プリント基板のウェーブ半田
- ◆ 誘電加熱のシール
- ◆ プラスチック積層板のポストフォーミング加工
- ◆ 金属面の焼きなまし
- ◆ 産業用炉の検査



- ◆ ワークへ塗布直後から固まり出し、膜を張った状態になります。検知温度に達すると膜が溶けて液状になります。
- ◆ 溶けた塗料が再び固まると、初めとは見た目が異なるため、昇温・降温の際、常に塗料を監視する必要がありません。
- ◆ 不燃性の塗料ですので、高温下でも安心してご使用頂けます。
- ◆ 検知温度別に MSDS を用意、輸出規制にも抵触しない安全な商品です。
- ◆ 保証期間は、メーカー出荷日から 6 か月間です。
- ◆ 乾燥した涼しい場所に保管して下さい。



日本金型産業株式会社

東京都大田区西蒲田5-27-1
TEL:03(3733)6311 FAX:03(3736)5300
URL: <http://www.jtdtky.co.jp>
E-mail: jtd@jtdtky.co.jp

使用方法

- ① ワーク表面をきれいにクリーニングします。
- ② キャップをしっかり閉めて、よく振ります。
- ③ ハケ付きのキャップでワークに塗布します。すぐに乾燥、固化が始まります。
- ④ 完全に固まった後、ワークを加熱して下さい。設定温度に達すると、液状になります。
- ⑤ 冷えると再び固化します。

型式	検知温度
24405	149°C / 300°F
24407	163°C / 325°F
24408	177°C / 350°F
24410	191°C / 375°F
24411	204°C / 400°F
24413	232°C / 450°F
24414	246°C / 475°F

型式	検知温度
24416	260°C / 500°F
24421	343°C / 650°F
24422	371°C / 700°F
24423	399°C / 750°F
24424	427°C / 800°F
24425	454°C / 850°F
24426	482°C / 900°F

型式	検知温度
24427	510°C / 950°F
24428	538°C / 1000°F
24431	593°C / 1100°F
24432	621°C / 1150°F
24433	649°C / 1200°F
24435	704°C / 1300°F
24438	816°C / 1500°F

テンピリキッド専用 グリーンラベルシンナー



塗料を使用している最中、もしくは長期保存により半硬化してしまった時に、薄めるためのシンナーです。

型式	容量
24597	約 60ml (2oz)